2014年4月3日発行　介護ウェーブ2014推進ニュース　NO. 4

# STOP！介護崩壊　介護ウェーブ2014推進ニュース

「社会保障の解体は許さない！介護保険制度の抜本改善を！！」

## －今年も介護の"Big Wave"をおこそう！－

署名ただいま
168460 筆

## 4/1 から地域医療・介護総合確保推進法案の審議が、衆議院本会議で始まりました！

消費税 8%の開始とともに、問題だらけの「地域医療・介護総合確保推進法案」が衆議院本会議で審議入りしました。全日本民医連の「介護改悪 STOP」署名と同じ趣旨の質問や批判が野党各党から出ました。

**1.「要支援者のサービスは市町村の事業に移さず、内容を充実させること」**

**→安倍首相「市町村が必要なサービスを効果的、効率的に提供できる仕組みにする」**

中央社保協の全国の保険者へのアンケートでは、回答のあった 637 保険者のうち「不可能」と答えた保険者は 205 か所（32.2%）ありました。地域格差や利用料のアップは絶対に許しません！

**2.「利用料の引き上げを実施しないこと」**

**→田村厚労相「対象者は所得上位のため、負担可能」**

年間所得 160 万円が所得上位なのでしょうか。消費税と利用料のダブルアップは、家計に重い負担を与えます！

**3.「施設入所の対象から「軽度者」をはずさないこと、・・・」**

**→田村厚労相「限られた資源でより必要性の高い方が入所しやすくなるような施設にすることが必要」**

特養を待っている人が 52 万人もいるのに、この 4 年間に特養は 7 万 5 千人分しか増設されませんでした。現在、介護度 3 以上の待機者だけで 34 万 5 千人います。国の責任で特養増設の計画を位置づけ、早急な増設が必要です。

そして、入居の必要性の高さは、介護度だけでは判断できません。

**4.「・・・、介護従事者の処遇改善策を講じること」**

**→安倍首相「必要な財源を確保できない中で、すぐにやると約束できない」**

1989 年から、消費税があがった分だけ、法人税が下がっています。あるところから税金をとらないから、財源がないのですよ。

| | |
|---|---|
| 北海道 | 8,122 |
| 青森 | 3,716 |
| 岩手 | 1,869 |
| 宮城 | 2,270 |
| 秋田 | 675 |
| 山形 | 5,276 |
| 茨城 | 1,667 |
| 群馬 | 1,846 |
| 埼玉 | 11,826 |
| 千葉 | 2,180 |
| 東京 | 15,742 |
| 神奈川 | 7,134 |
| 新潟 | 2,572 |
| 山梨 | 2,786 |
| 長野 | 10,498 |
| 富山 | 1,939 |
| 石川 | 1,379 |
| 福井 | 3,183 |
| 岐阜 | 4,257 |
| 愛知 | 3,052 |
| 三重 | 515 |
| 滋賀 | 1,828 |
| 京都 | 6,051 |
| 大阪 | 18,134 |
| 兵庫 | 1,084 |
| 奈良 | 3,586 |
| 和歌山 | 1,059 |
| 鳥取 | 4,137 |
| 島根 | 1,344 |
| 岡山 | 9,091 |
| 広島 | 50 |
| 山口 | 1,427 |
| 徳島 | 2,296 |
| 香川 | 746 |
| 愛媛 | 2,822 |
| 高知 | 2,727 |
| 福岡・佐賀 | 6,293 |
| 長崎 | 2,917 |
| 熊本 | 1,829 |
| 大分 | 2,471 |
| 宮崎 | 1,321 |
| 鹿児島 | 1,708 |
| 沖縄 | 1,918 |

## 4. 24 ﾋｭｰﾏﾝﾁｪｰﾝ行動＆国会行動に参加しよう！

**☆4 月 24 日スケジュール☆**

10：30～　民医連国会集中行動 in 衆議院第 1 議員会館（議員要請行動のみの予定です）
12：30～　"輝け！いのち"市民大集会　in 日比谷野外音楽堂
　（衆議院議員会館から電車で 1 駅、徒歩ふくめ約 15 分で着きます）
13：30～　国会請願パレード（国会議事堂に向かいます）
14：30～　国会包囲ヒューマンチェーン（国会議事堂を囲みます）
15：30　　終了予定

**参加の方は、できるだけ 4 月 18 日までにお申し込みをお願いします**

**お手元にある署名は、4 月 19 日までに全日本民医連事務局に届くようにお送り下さい。**

## 各地の介護ウェーブ　引き続き・・・

### 千葉

3 月 16 日に千葉市高齢福祉課長を招いての講演と学習会を行いました。参加者 100 名のうち、7 割が他事業所や一般の参加者でした。参加者の感想文から、

・地方自治体も困難に直面していることが分かった。医療と同様、介護の問題も国に制度改善の要求を出さないといけないと思った。

・法改正に向けての概要をわかりやすく説明していただきとてもよかったと思います。ただ、具体的にはあま

り決まっていないようなので、早く具体的なことが決まらないと利用者さんも事業者も不安なのではないかと思いました。

・様々な職種の方々（組合員の人も）が参加されていて、生の声が聞けておもしろかったです。

・グループワークでは、とても深い話し合いができたと思います。今後の法改正を民間がしっかり考えていく必要があると思います。地域の連携が必要になると思います。

写真は高齢福祉課長の講演とグループワークの様子です。
課長さんはグループワークにも参加してくれました。

## 大阪　紙芝居で地域の方に伝えよう！！

1 月14 日（火）に大阪民医連介護福祉委員会主催で「介護情勢を語る職員養成講座」を開催しました。

話すことに慣れていない職員でも、介護情勢を共同組織の方や職員、地域で幅広く伝えられるように、30分程度で話せる紙芝居を作成し、実演しました。是枝事務局次長からは「各現場でこのスライド（紙芝居）を使用する時には、新しくスライドを足したり、現場での生の意見を話し、バージョンアップしたスライドを大阪民医連に返してもらい、それをまた大阪のみんなで共有してより良いものにしていければと考えていています」と、より伝わりやすくなるような意見をもらいました。

事務局から、①全ての職場でこの紙芝居をしましょう、②共同組織の支部、班でこの紙芝居をしましょう、③改悪反対の自治決議要請の自治体キャラバンを計画中。市町村議員に要請行動を行います、④署名を引き続き取り組む、⑤通常国会の法案提出の動向に注目し行動のテンポを早めよう、と行動提起をして養成講座を締めくくりました。

## 長崎

11 月 11 日、長崎市内の繁華街で宣伝行動を行いました。介護事業所と、診療所、県連事務局、友の会会員の総勢３４名が参加し、署名を訴えたあとパレードをしました。訴えを聞いて「戻ってきて」署名してくれる人、介護の仕事についていて「小さな事業所だから先行きが心配」という人･･･、内容がしっかり伝われば、賛同が集まるという手応えを感じました。

介護部会の呼びかけで、介護職員自らが、リレートークを行いました。はじめは「何しゃべるんですかぁ～」と、クネクネしていたのですが、いざ本番となるとしゃきっとして、一生懸命訴えました。

★「私は介護の仕事に誇りを持っています。でも今は給与が安く、介護の仕事への悪いイメージがあり、欠員の補充がなかなかできません。利用者の方へもっと質のよい介護が提供できる様にするためにも、介護報酬の引き下げではなく、引き上げに取り組んでもらいたいです。」（20 才、新入職員 K さん）

★「私はデイサービスで働いています。予防デイにこられている方は「私たちはどうなるとやろか」「一人でやっていける自信がない」など不安な気持ちでいっぱいです。これからの日本は不安がいっぱいです。将来私たちの時にはどうなっているのだろう。年をとるにつれて暮らしにくい日本になっているのではないでしょうか。今の高齢者のためにも、私たちの将来のためにも、介護保険制度の見直しをするべきです」(20 才、2 年目職員 O さん)

## 高知　副知事交渉で、ケアマネの実態報告に軽度化への答弁引き出す!!

11/29 国民大運動実行委員会主催の高知県副知事交渉があり、高知民医連からは氏原介護部長と介護の窓口筒井さんの２人で参加しました。

介護予防はずしの動きについては、高知県の見解は「影響は大きいと認識している。サービスが後退しないように知事会でも国と自治体との協議を進めている」とのこと。筒井ケアマネから、この間の介護度軽度判定の実態について事例をあげて報告し、県からは「自立が進み、軽くなることはあっても、同じ状態で軽くなるような切り捨てはあってはならない。指導を強める」との答えをひきだしました。

お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」　事務局：諏佐・山平
☎ 03-5842-6451／fax 03-5842-6460／E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp